



SAKAIGI JHS

境木中学校学校だより 2019th

令和2年2月10日



横浜市立境木中学校

校長 三浦 昌彦

〒244-0802 横浜市戸塚区平戸 3-48-2 TEL 045-822-8626 Fax 045-826-3826

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sakaigi/>

《学校教育目標》

未来を心豊かにたくましく生き抜く真の「生きる力」を育む教育を推進します。
～素直な気持ち・思いやり、辛抱と我慢ができる心、たくましい体、社会への貢献～

失敗のとらえ

副校長 青木 美穂

年が明け、2020年となりました。昨年は、大きな台風や水害等、自然の驚異に脅かされ、今も爪痕を残した年となりました。被災された皆様、関係者の皆様にお見舞い申し上げます。今年は、オリンピック、パラリンピックイヤーとなり、明るい話題を提供してくれると期待しております。

さて、新年のある日、戸塚区区民栄誉賞の「奨励賞」を受賞した19才の青年のお話しを聞く機会に恵まれました。彼は、戸塚区在住で高校3年生時に第73回国民体育大会で「10mエア・ライフル競技少年男子の部」で優勝、74回大会では成年の部で決勝進出を果たした松本大典さんです。

彼は、優勝できた理由を、「取り返しのつかない大失敗を高校2年生の時にしたからだ」と振り返り分析していました。彼は、「取り返しのつかない大失敗」により、その競技をする先輩方に自話を聞きに行くようになり、自ら助言を求めようになったと言います。そのような取組がなければ、つまり、「あの失敗がなければ、国体優勝はなかった」と自ら分析していました。

そして彼は、最後に会場の大人達に次のように呼び掛けました。「大人の方々は、失敗は駄目なものだと捉えることが多いと思うのですが、イメージを変えて欲しいと思います。失敗することは、とても大切でいいことなんです。」

彼は「人前で話すのは得意ではない」と述べていましたが、私は彼の話で大きなインパクトを与られました。彼の言葉は、率直であり、実体験に戻った根拠のある発言で、力強く、鮮明だったためだと思います。

普段、私たちは「失敗」しないよう準備したり、対策を考えたりしますが、それでも「失敗」はありますし、「取り返しのつかない大失敗」と感じることもあります。しかし、そこで凹んでいては、「失敗することはとても大切でいいこと」にはなりません。彼が言いたいことは、その失敗での「気づき」を「自分ごと」にして、主体的に動き出す原動力にしてほしいということだと思ふのです。人は、気付くことができれば、これまでと違う視野が広がりますし、気付くと、次はどうするか試行錯誤が始まると思ふます。

境木中学校では、毎年、「主張作文」を全校生徒が書き、発表し、聞き合っています。自分の考えを主張する取組は、そもそも「挑戦」です。この取組を挑戦したこと自体、尊いことだと思ふのです。普段の生活でこんなに主張し合うことは、珍しいからです。もし、今回の主張作文で上手く表現できなかったならば、チャンスです。「失敗」は自分に気づきをもたらす絶好の機会なのであります。



新生徒会本部役員・各種委員長「認証式」 1/7



1月7日、新生徒会本部役員・各種委員長の認証式を行いました。

本部役員と委員長は、校長先生から認証状が手渡され、緊張しながらも凛々しい姿を体育館のステージで示しました。

これから、新本部役員・委員長を「生徒会員全員」で支え、3年生が創ってきた学校生活を引継いでいくことでしよう。

3年生が卒業式を迎えるまでの期間、3年生から、まだまだたくさんの方のことを学び取ってほしいと思います。

「避難訓練」火災発生を想定 1/7

令和2年最初の避難訓練は、1階からの出火を想定したものでした。

新年早々の学校にサイレンを響かせ、全校生徒が、寒空のグラウンドに約5分で避難できました。

今年は阪神淡路大震災から25年経つ節目の年。25年前もこのような1月の寒空だったのだろうと校長先生の講評を聞き、生徒達は感じたようでした。



「主張作文」学級発表会



▲1年2組の主張作文の学級発表の様子

境木中学校の1・2年生は、この時期、主張作文を「朝総合」の時間を使って、各学級、数人ずつ発表しています。

発表する生徒は、2学期に構想を練り、書き上げた主張作文を学級全員の前で話すので、緊張しますし、貴重な体験となっています。

また、発表を聞く生徒も、聞く視点に基づき、他者評価するため、真剣です。

学級の仲間がどんなことに興味をもち、考えを深めているのか、主張作文を通して理解すると共に、自分の考えを深め、視野を広げる絶好の機会となっています。

校内書初め展 1/7~1/31



▲3年生 入選作品

▲2年生 入選作品

1月の校内は、書き初めが展示され、教室
内も廊下も壮観でした。生徒の皆さんが、
新年、心新たに願いを込めて、一筆一筆、
書いた様子が伝わってきます。



▲3年3組の教室に展示された作品



▲1年生 入選作品

図書室「布絵本作品展」 3年 技術・家庭科（家庭分野）



▲3年4組の布絵本の作品を見入る3年生



3年、技術・家庭科（家庭分野）で製作し
た幼児のための「布絵本」の力作が、図書室
の一角を借りて展示されました。

工夫された布絵本作品は、思わず触れて、
ページをめくりたくなるものばかりでした。

素敵な境中生

ある日の朝練の時間帯、生徒の皆さんが登校する前、昇降口を手際よく清掃している茶道部の生徒さん達がありました。“すのこ”をめくり、その下の土や砂をほうきで丁寧に掃き出していました。気持ち良い朝を整えてくれた茶道部の皆さんに感謝です。



▲茶道部の奉仕活動（朝練の時間）

ある日の図書室

昼休み時間に開館する図書室には、多くの生徒が利用し、来室します。12月の利用者は、**1015人**。新着の本が定期的に入り、1人で読んだり、複数で読んだりして楽しむ姿が図書室のあちこちで見られます。



▲窓辺で本に見入る3年生



▲複数で1冊を囲む2年生



▲もくもくと読書をしている1年生

図書室前の掲示物

SDGs (持続可能な開発目標)
クイズに挑戦しよう!



クイズをめくると…

こたえ



頑張る境中生!

- ◆バスケットボール部
 - 【男子】神奈川県選手権大会 ベスト8
- ◆バドミントン部
 - 【男子】横浜市新人大会 個人戦
ダブルス 大高優希さん・湯山海生さん ベスト 16
シングルス 若林涼蒼さん 出場
 - 【女子】横浜市新人大会 個人戦
シングルス 五味 遥愛さん 出場
- ◆野球部
 - 1年生大会オーリーブ杯 優勝
- ◆保土ヶ谷区 新春子ども書き初め展
 - 【区子連賞】 1年 安原 葵さん
 - 【区連合町内会会長賞】 2年 江副美和穂さん
 - 【区社会福祉協議会会長賞】 1年 保坂 はなさん

小幡 博信 教諭

「三浦市長表彰」消火活動



小幡教諭は、長くボーイスカウトの活動をされています。

昨年の2月、神奈川県三浦市でボーイスカウトの隊長として参加したキャンプで、近くの建物の火災を見付け、仲間と共に

初期消火活動を行い、最小限の被害に抑え、三浦市長から1月に表彰されました。素晴らしい行動力と判断力です。